



# 第5回スリランカ紀行



2017年3月1日～3月27日

## 第5回スリランカ紀行 2017年3月1日～2017年3月27日

スリランカ行きも5回目を数えることとなりました。

前回に引き続いて安部由紀子さん、そして新しく安部さんのお友達である香月恵美さんが途中で加わることになりました。

私のスケジュールは1月以上前から決まっていたのですが、お二人のスケジュールが直前までなかなか調整つかず、お二人は3月3日出発、3月8日帰国というあわただしい行程となりました。

安部さんは2回目なので、現地の様子は頭に入っておられますが、香月さんは初めてのスリランカなので、幾分脅し気味に案内を差し上げています。

出発前日の2月28日になって、息子がインフルエンザを発症。病院でタミフルをもらって服用開始。

3月1日（水曜日） 福岡発大韓航空便で出発。

日本人は見当たらない。中国人と韓国人が多いのが目立つ。

3月2日（木曜日） 小雨

2日午前4時過ぎにバンダラナイケ国際空港に到着。事前の案内では空港滑走路工事のため、昼間の発着ができず、混乱しているとの情報でしたが、ほぼ通常通りに手続き完了。携帯電話は繋がらなかったけれど運転手スジューワもちゃんと待っていて、問題なし。8時半にWDC本部に到着。

ほどなくサシさんも現れて歓談。そのあと日本語の話せるスタッフ（名前を聞いたが失念）にWDC本部内の障害児教室を案内していただきました。

1時間弱の訪問のあと、キャンディ市内でモバイル環境を整え、アラガマへ向かいました。午前11時アラガマ着。

宿舎は都合によりお隣に変わりました。平屋の一軒屋です。

寝室が二つあり住みごこちは快適です。

停電に備えて充電式ランタンを持ってきたので、まず大丈夫。あいかわらず水周りには問題がありそう。あちこちで小さな水漏れがあるので、断水には十分注意が必要なようです。

明日の夜中に安部さんたちが到着予定。こちらはキャセイパシフィックなので、真夜中の到着になります。出迎えはスジューワに任せてあるので、うまく見付かれればいいですが。

今日は身の回りに整理だけで終わりそうです。

コーディネータのジャーナキに日本から持参した小物サンプルを見せました。これを参考にオリジナル商品の見本が欲しいと頼みました。

先生のシロミが明日自分の家に来て欲しいと言います。

夕食が午後 7 時半ごろ運ばれて来ました。

サンドウィッチを空港で買ったワインを頂きながら食べました。

3 月 3 日（金曜日）

午前 3 時半起床。 まだ時差になれていないので、どうしても早く目が覚めてしまいます。

日本時間では午前 7 時。 安部さんたちは空港に向かっているころでしょう。

今回の訪問目的を再確認してみます。

- ① WDC の健全経営に向けて、「工芸」部門を確立する。将来はこの責任者にラリタをあてることができれば長期的な展望ができる。
- ② スリランカ内のネットワークを広げるためにゴールのチャトラさんやコロomboの根本さんと何らかの連携が持てるようにする。
- ③ 木工教育部門である VTC の事業について詳しく把握し、アラガマの工芸部門との関わりを明確化し、連絡役を立てる。
- ④ シロミの教師としての自覚を促す。
- ⑤ WDC ブランドの具体化を進める。 色調、デザイン、商品アイテムの展開と絞込み。
- ⑥ S-three の店舗の見直し、ライバル店との商品比較、ネット販売、公告などを検討する。

今日の予定：

8 時半 組紐ワークショップ開始

出席者確認

前回作ったタグの使用状況確認

組紐は午前中に基本パターンの確認をして、午後応用に進む。

キャンディに出るのであればいづらか資材を調達する。

今回滞在中の経費について、実行予算を作る。

蜂須賀さんからスリランカの会の案内メールが届く。今回こちらに滞在中のため不参加の返事をしておきました。

松本さんから借りてきたインド製の携帯はバッテリー不良のため、使えないみたいです。

市場にいったら、水周りの修理道具をもう一度探してこなければなりません。

永田さんから FR の件でクレームのメール。進捗報告ができていない。西さんにメールして、再確認しました。

夜はかなり涼しく、掛けるシーツ一枚では寒く感じます。

午前 5 時過ぎ、外はまだ暗い。曇り空です。

キャンディでの買い物リストを作ります。室内用のサンダルも欲しい。

PWG のギタとコロomboの根本さんにスリランカに来ていることを知らせておきました。

来週末11日にはゴールに行く予定です。

午前6時10分 朝食が届きます。外は雨。

このごろキャンディは雨が多いそうです。 昨日の夕方は晴れていましたが。

この家はテレビもあってかなり文化的です。 Pearl の肖像デッサンが飾ってあります。

8時30分過ぎに少女たちがやってきました。

今回のメンバーは

Lalitha ラリタ

Vinodani ビノダニ

Madu マドゥ

Danushika ダヌシカ

Madavi マダビ

の5名と先生 Shiromi シロミ です。

マドゥは初めての参加ですが、すでに組紐を覚えていて、みんな初歩はできるので、最初に十六丸源氏組からスタートします。

途中で Janaki さんがアメリカ人女性とお坊さんを見学に連れてきました。

少女たちが作った組紐を見て ‘Beautiful!’ と言っています。

今回の製品シリーズに考えているミニ飾りをラリタに試作させます。

シロミはお休みでラリタが先生の代わりに勤めます。

午後施設の食堂で昼食。

昼食はじゃがいものカレー。 きゅうりとたまねぎのサラダ。 この質素な食事がほんとうに美味しいと感じられて幸せな気分です。

夕方5時過ぎに大粒の雨。

午後6時40分、根本さんから電話。今週末コロンボに行くと思っていたようで、来週末ですと伝えて、日曜日の午後1時半ならOKと返事をもらいました。

彼の住んでいるところは高速道路を降りて近いらしいです。

午後7時に夕食が来ました。

夕食はローティ（中国の焼餅のようなもの）とカレーです。

雨はなかなかやみません。・・・と、事件発生！

油断したら雨漏りで荷物がぬれています。 持ってきたティッシュの箱がびしょぬれです。

昔から怖いのは「古家のもり」と決まっています。

夜中に備えて少し寝ます。

3月4日（土曜日）

午前零時目覚ましで起床。 空港に行っているはずのスージーワに電話します。

「飛行機は到着しているが、彼女らとはまだ会っていない」との返事。 とりあえず到着しているようなので、連絡を待ちます。

外の雨はやんだもよう。 雷も聞こえません。 気温は26度。

30分ほどして電話が入りました。 香月さんと安部さんはひどく疲れたもよう。 でも一安心。

午前3時半 二人が宿舎に到着。

おしゃべりしながら休憩してもらいました。 6時にはここを出発してピンナワラへ行く予定です。 今日は強行軍になりそうです。

午前6時 スージーワの車で出発。

朝食代わりにテイクアウェイのファストフードを買ってたべながら走ると、途中の景色に二人は歓声を上げます。 遠景に山並みから突き出た岩が見える風景です。

車を停めて写真を撮りました。



午前7時45分にピンナワラに到着。 「象の保育園」です。

開園は8時30分からなので、しばらく待ちます。

37年前ここから北九州市の到津動物園に2頭の子象がやってきました。

入場料一人 2500 ルピー。 日本円で約 2000 円ほど。700 ルピーで友好国価格というのがありますが、日本は友好国に含まれていないようです。



子どもの象へのミルクやりや水浴びを見て、午前 9 時半、ダンプッラへ向けて出発しました。

近くのハーブガーデンに立ち寄りしました。 アーユルベータのまねごとをしてくれて、結局ちょっとしたぼったくりに会ったようです。 これも旅の思い出の一つ。

ダンプッラの町で昼食をとります。 ライスアンドカレーです。 コカコーラを注文しました。 とても暑いので、コーラのおいしいこと。

ダンプッラの「ロックテンプル」に登ります。

聞くところによると、最近有料になったとか、 チケット売場が見当たりません。

何か分からない窓口にいたおじさんに聞くと、「上でチケットを買いなさい」と言います。 三人で登り始めましたが、安部さんはきついようなので、香月さんと先にいくことにしました。

途中で、「チケットはあつちで売っている」というので、探すのですが、下り坂を行けども行けどもチケット売場らしいものはありません。

なんとかたどりついたと思ったら、今度は「チケット売場はこの上」と言うのです。

なんとまた階段を登ったところに臨時の張り紙で「Ticket Office」と書いてあります。

ここで 1500 ルピーも払って、また山登りとなりました。

頂上にたどり着いたときには約束の帰り時間が迫っていて、5つの洞窟のうち、2つしか見ることができませんでした。



山を下って車のところに行くと、スージーワだけ戻ってきて、安部さんがいません。

一人でジュースを飲んでいらっしゃいました。

午後 3 時半、ダンブッラ出発。宿泊地アヌダラプラへ向かいます。

お二人は疲れて車中でぐっすり。

午後 4 時 45 分、ホテルに到着。ここは前回泊まったホテルで管理人のおじさんも覚えていてくれました。部屋が 2 つしかないのでとてもゆっくりできます。

香月さんのアイホンの充電で一騒動しましたが、ケーブルを購入して一見落着。

午後 5 時半、夕方の市内見物に出発。

イスラムニヤ寺院とルワンワリサヤ・ストゥーパを見学。雨がぼつぼつ来たので途中で切り上げます。



テイクアウェイの食べ物とビールを仕入れて、ホテルに戻って、最初の夜の食事です。  
午後 11 時就寝。

3 月 5 日（日曜日） 晴

午前 5 時起床

7 時に朝食予定なので、それまでに出かける用意をすませておきます。

昨晚はよく眠れました。

ところで、お二人は 6 時半を過ぎても静かで、まだお休みのもよう。

昨日が強行スケジュールだったので、お疲れのことでしょう。

6 時 45 分になったので、ドアをノックしました。

安部さんは頭を洗ったのですが、そのあとが大変でした。 詳しいことは省きます。

朝食は食パン、ホッパー、玉子焼き、ソーセージ、豆のカレー、チリたまねぎ、ジャムにバナナ。



午前 8 時 30 分ホテル出発。

菩提樹を祀った「サマ・ボダ寺院」、から昨晚暗闇で見た「ルワンワリサヤ・ストゥーパ」  
そのあと美しい「トゥパラマヤ・ストゥーパ」や王様の水浴び場「ツイン・ポンド」を見て、「サマ・ボディ」仏像や二つの博物館を見学。



キャンディへ向かう前に人口湖の渚に下りてみました。



昼食はライスアンドカレー、ココナツジュースも飲んでおなかがいっぱいです。  
キャンディの入り口は道路工事中で大渋滞。  
午後5時にキャンディ市内にやっとたどりついて、YMBA（YMCA ではない）でのキャン  
ディダンスの開園に間に合いました。



演出にいまいちのところもありますが、初めて見るにはなかなか面白いものでした。  
庭で火渡りも見せてくれました。

夕食の前にもう店じまいをしかけている市場でお二人はみやげものを探します。  
安部さんは大きい靴をしきりに勧められていささか困り気味。

魔よけのお面や象の置物など、買って、KCCのスーパーでもスパイスなど買うことができました。

私のもつばら、日用品を買い込みました。

午後7時40分 今夜はクイーンズホテルのバイキングで夕食です。ちょっとした散財でしたが、カレーばかり食べていたので、洋食がおいしかったです。

スージーを待たせていたので、1時間で食事を切り上げて、アラガマの宿舎に戻りました。

宿舎に戻ると、なんだか机の上が片付いているような気がしてなりません。

気がつくとき置いていたはずのランタンがどこにも見当たりません。それにライターもなくなっています。狐につままれたとはこのこと。結局これらは見付かりませんでした。

三人で話の花が咲いて、12時半就寝。明日は8時半から授業です。

3月6日（月曜日）

午前5時45分起床。洗濯。

お二人の朝食を頼むのをすっかり忘れていました。これから追加してもらおうかとも思ったのですが、何事も辛抱。7時15分に安部さん持参のポタージュとバナナで何とかしのぐことにしました。

そのあとで、ローティを持ってきてくれたので、三人で分けました。

安部さんと香月さんが準備してくれた名札をつけて、自己紹介。そのあと、香月さんが教室に残ってみんなと組紐のワークショップに参加。安部さんは午後からの折り紙教室の準備です。

先生のシロミは遅れてきました。なんと先週木曜日におうちが蚊取り線香の火から火事になったそうで、それで金曜日もお休みしていたのです。

ずいぶん気落ちしている様子で残念です。

隣にある幼稚園の先生 アヌーシカさんが、自分も折り紙がやりたいと申し込みました。

このあと、幼稚園を見学させてもらいました。

昼食を食堂で頂いた後、午後1時45分から折り紙教室開始。内裏雛飾りを作ります。

シンハラ語で RASATUMO(ラサツモ) Queen

BISAVA(ビスワ) King と言います。



お雛様ができとところで「ぞうさん」の歌をみんなで覚えました。  
カレンダーの紙の裏にローマ字で日本語の歌詞を書いて、その下にシロミにシンハラ語で  
ローマ字を直して書いてもらいました。  
ぞうさん ぞうさん おはなが ながいのね。 そうよ かあさんも ながいのよ。



午後四時前、当センターコーディネータであるジャナキさんがやってきました。  
現在収容しているのは 少女 38名 乳児 9名 少女のうち妊娠中が 6名とのこと。

スリランカでは教育費、医療費は無償。薬局での薬は有料とのことでした。

このあと夕方5時にサシさんが来る予定とのことでした。

宿舎に戻って3人で雑談していると、午後6時ごろサシさんが来ました。

安部さんは前回お会いしていましたが、初めての香月さんを紹介して、今回の訪問の目的などを話し合いました。

午後7時半 夕食が届きましたが、量が多くて残してしまいました。

今回撮った写真や動画をパソコンで見て、9時過ぎに就寝。

3月7日（火曜日）

午前5時15分起床。洗濯。

断水です。今回最初の断水。お二人に「断水ですよ！」と知らせます。

あらかじめ断水についてはお話してあるので、お二人とも平気です。

ここでちょっと今回の宿舎の紹介をしておきます。



外観 手前は売店に続く



ここがリビング手前に玄関ドア



私の作業用デスク



大小のベッドがある寝室（1）もう一室ある



バスルーム 左手にトイレ

なかなか快適な住まいです。

今日は安部さんたち二人は帰国の日なので、午前中だけの授業。

午前中は昨日の午後に続いて折り紙の授業です。

睡蓮とかえるを作ります。

睡蓮（こちらではなにしろ蓮の花。）はシンハラ語で メルン かえるは ゲンバツ と言います。



思いのほか早くできたので、箱（身、ふた）を作ります。少し難しい工程があるにもかかわらず、みんな上手にできました。

午前10時ごろ、センターのほうにいてベッドシーツやら、ほかの教室で作っているものを見に行くことにしました。

センターでは2階の部屋にみんな集まって、外部からきたドクターによるメンタルケアの集会がありました。シンハラ語なので内容はわかりません。

香月さんと安部さんは枕カバー、ベッドシーツなどを購入しました。



(箱を作る)

午後1時過ぎ、スージーワが迎えに来ます。

キャンディ中心の駐車場に車をとめて、4時にここを出発することにして、市内見物と最後の買い物です。

銀行で両替をして外に出ると、はげしい雨。スーパーでちょっとお買い物をして、時間をかせぎますが、まだやみません。仕方が無いので、傘を捜しに行きました。市場のたくさんの店にもなかなか傘は見付かりません。やっと見つけて待っているお二人の元へ。このあと仏歯寺(ダラダ・マリガワ)を見に行きます。先ほどからの雨で、はだしになるのはちょっといやなので、外側からの見学に留めます。



このあと市場の周りを一回りして、駐車場に戻ると、車が見当たりません。三階と四階を間違えていました。

私はバス基地まで送ってもらい、お二人は空港へ向かいます。

ちょうど KANDY to HARAGAMA と書いたバスが留まっていて、スージーが「あれ、あれ」というので、乗ったのが大間違い。

バス賃がいつもは 34 ルピーなのに今日は 30 ルピーなので、ちょっと変だなとは思ったのですが、「終点だよ。」と車掌に言われて降りたところは知らない場所です。

あたりはだんだん薄暗くなるし、行ったりきたりしていると、さきほどバスの終点にいたスリーウィーラー（三輪タクシー）がそばにやってきました。「あんた、さっきバス停にいたんだろう？」と言うから、「バスを間違えたらしい」と答えましたが、「どこに行きたいの？」と聞かれてもアラガマだということ以外わかりません。いつも自分がいるところはアラガマだと思っていたのですから。

実は今朝、出掛けにシロミから「バスはこれこれしか乗ったらいけない」と言われていたのです。

あてずっぽうで私が「あっち・・・」と言うのでタクシーもうろうろ。

結局シロミに電話して、運転手に説明してもらい、やっと見慣れた景色が見えてきました。水はまだ出ません。なんとかなるでしょう。お二人は無事に空港に着いたかな？

3月8日（水曜日）

午前5時50分起床。

6時49分に朝食が来ました。ローティです。

ワークショップはみんなに10本畝組をやらせておいて、ラリタに各人のスキルを一覧表にしてもらおうと思いました。

ラリタとシロミは基本パターンはすべてできるのですが、先生のシロミはときどき間違いをします。彼女は呑み込みは早いのですが、とにかく記憶にたよる癖があって、裁縫でも型紙を使ったりしないので（アプリケは型紙がありますが）、そのつど違う大きさで作ってしまいます。

マダビは数と大きさの概念の教育をうけていないため、3つ以上の数がよくわかりません。長さを比べるのもできないので、絵をかいてやってそれにあわせてみる癖をつけてやる必要があります。

今日は国際婦人デー（International Weman'sDay）なので WDC 本部でセレモニーがあるそうです。

シロミには明日から、日本への小物サンプルを統一デザインで作るように指示しました。安部さんたちはもう日本についているかと聞かれました。

15時15分着の予定なので、着いているかもしれません。

こちらの時間で3時20分(日本時間6時50分)に香月さんにLINEで電話してみました。現在帰宅途中との返事がありました。とにかく日本へはたどりついたようで、一安心です。午後4時前教室を覗くと皆で片付けをしていました。

皆が「ぞうさん」を歌い始めたので、部屋からハーモニカを取って来てハーモニカに合わせて「ぞうさん」を歌いました。シロミが日本の国歌を聞かせてというので、「君が代」を歌いました。そのあとみんながスリランカの国歌を歌って聞かせてくれました。

かなり長い歌です。オリンピックでもほとんど聞くことのない国歌ですが、覚えやすそうなメロディーです。

「君が代」についての日本国内での是非論はともかく、外国でその国の国歌を聞き、自分の国歌を求められれば、お互いに敬意を表さなければならないのがあたりまえでしょう。そのほかに「みかんの花咲く丘」や「汽車」、「ふるさと」などをハーモニカで聞かせました。

今回「ぞうさん」を覚えてもらったのは大成功です。

少女たちは口々に「エミはシンハラ語の発音が上手」と言います。特にかえるの鳴き声「バカバカ」！！

3月9日(木曜日)

午前6時10分起床。目覚ましをかけていなかったもので、夜中に何度も目をさましたのかかわらず、寝坊してしまいました。

水漏れがないか点検します。

午前6時50分 朝食が届きます。今日は3人で来ました。制服にランドセル姿の通学前の生徒二人とおばちゃんです。

午前7時3分 停電。あまり長くはなく、7時40分復電。

今日組紐ワークショップはキーホルダーを作ります。

全員「菱瀬組」でゴールドの金具を使って作ります。この金具がなかなかの曲者で、中国製ですが不良品だらけ、半数以上が使い物になりません。

今週中は製品にできそうなものはこのキーホルダーのみ、大半が練習です。来週から売り物になるものを作ってもらつつもりです。

マダビは数がわかりません。3本のところを4本でやろうとしてうまくいきません。

ティータイムにシロミが「クラッカン」と名前のお菓子をみんなにくれました。

「キャンド」という葉っぱにはさんで蒸したと思われる甘い紫色のお菓子です。とてもおいしい。

ラリタには「十六金剛組」を単色で作らせてみます。先生のシロミには日本から持ってきた見本にあわせて、「汗とり」を試作させます。型紙を使って大きさがまちまちにならないように注意します。さらにラリタにもチェックさせます。

お昼の時間、センターでニュージーランドからインターンシップで6ヶ月間ここに来ているという女子学生と話をしました。もう5ヶ月目だそうです。

シロミは汗取り5枚セットとよだれかけができました。汗取りと同じ柄でティッシュ入れを作ってもらいます。

よだれかけはサイズにやや難あり。シロミは、はさみを持ってすぐに裁ち始めるのが悪い癖です。

昼休みにPWGのギタがジェヤと二人でやって来ました。ギタにはエステートを見学したいと伝えましたが、遠くてここから3時間ほどかかるそうです。

午後からは、マドゥ、ダヌシカ、ビノダニの三人はダンスクラスにいった抜けました。

3月10日（金曜日）

ノートを教室に忘れたので、メモ用紙に書きました。

ラリタは3月30日と31日にWDCのフェアに出品する腕輪の制作で頭を痛めています。

ひもで結ぶようにしているので「カニカン」を使うアイデアを出してみました。

彼女もそうしたかったようで、早速試作してみます。

そのほか、腕輪の両端が角張っているのが気になっていたのも、こちら丸く角をとることにします。

午後4時宿舎に戻って洗濯。

腕輪の試作を4個分作ります。

午後8時15分、夕食が来ました。3人でやって来ました。飴が足りるかちょっと心配になります。

あさってはゴールに出かける予定なので、明日スージーワに電話しておかなければなりません。夕食はライス アンド カリー 大盛りなのでやっどこさ食べました。今日のはとても辛い。

3月10日（金曜日）

午前6時半朝食。

今日の作業を計画します。

ラリタのかかえる腕輪の制作を分業できないか考えてみました。

各人ができることが違うので、工程ごとに分ける必要がありそうです。



左の赤いのが素材で食器洗いの洗剤のボトルを輪切りにしたもの、両端に留め金具をつけて、刺繍糸の白を縦糸、紺色を横糸として文字を織り出すという大変面倒なものです。これをラリタは100個作れと言われていて、頭を痛めていたので、手伝ってやることにしました。

この人たちは共同作業の習慣がないので、各人にむりやり「これをやれ」とするしかありません。みんなで相談して作るなどとは考えも及ばないのです。

文字を織り出せるのはラリタだけなので、

先生のシロミはボトルを輪切りする。

私が両端に穴を空けて金具をつける。

マダビは糸を糸巻きに巻く。

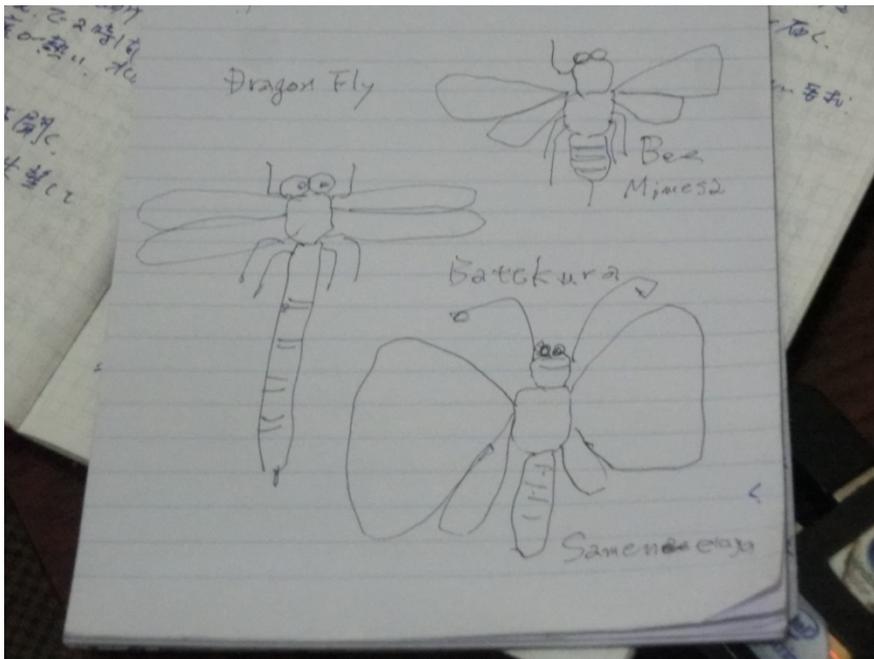
ビノダニは白糸を長さに切る。

ダヌシカは白糸を一方の端に結ぶ。

と役割を決めました。

ボトルのあるだけ、段取りをしたところで、今日はサンプルだけ作って、サシに意見を聞くことになりました。

下の絵はとんぼとちょうちょと蜂。 シンハラ語でバックラ、サメレーラヤ、ミセワ。



スジークに明日の予定を電話しました。 午前5時出発予定です。

午後6時35分夕食が来ました。 明日とあさってはいないので食事はいらないと断っておきます。

夕食はキリバット。(ココナツミルクでたいたご飯)

3月11日(土曜日)

午前4時起床。 支度をして5時に門の外車で仮眠しているスジークを起こしました。

ゴールに向けて出発です。 ゴールは Galle でシンハラ語ではガッレのように発音します。

セイロン島南端の古い都市です。

途中コロomboの手前、高速道路に入る前にビュッフェで朝食をとりました。 ここは安く一杯の、紅茶がついてライスアンドカレーが 170 ルピー。

コロomboへの入り口は大渋滞です。

高速道路を約 100km ちょっとならんでゴールに到着です。



高速道路料金所 日本規格です

高速道路を降りるとすぐに海岸通りに出ます。目の前にインド洋が広がっています。ゴールでお会いする予定のチャトラさんは北九州スリランカの会のクマラさんからの紹介です。正午ごろに「ミナラホテル」で昼食をご一緒することになっています。

午前 10 時 45 分にゴール公園に着きました。

ここは古くから栄えたところで、公園を中心に博物館やジュエリー、みやげ物店などが並んで、外国人観光客で一杯です。

ひなたはとても暑い。涼しいキャンディから来たので、焼けるようです。

今日は日まわりがいいのか、あちこちで新婚のカップルの車が見られます。



30 分ばかりここを散策して、待ち合わせ場所へ移動しました。

ホテルについて、電話しましたが、午前中のワークショップがまだ終わらないらしく、しばらくここで待ちます。

一時近くになってやっとお会いできました。ここで昼食をとって、そのまま彼の主宰している NPO 法人「HELP-O」のオフィスを訪問しました。

かれの掲げているスローガンは「Clean and Green」だそうで、ゴールの町をきれいにして、緑豊かな都市にしたいとがんばっています。

オフィスには彼の奥さんと娘さんも仕事をしていました。



チャトラさん

これまで、さまざまな活動をしてきて、数々の表彰も受けています。  
インドでの持続可能な自然保護に関する大臣表彰のビデオを見せていただきました。  
そのほか、刑務所での人権啓発活動や、象と住民の共存の問題にも関心を寄せていて、ミツバチを使った人と象との緩衝地帯の構想を持っていると説明してくれました。  
私が、日本で犬猫の殺処分問題に関わっている話をすると、何の理由で犬や猫を殺さなければならないのかと問われ、返答に困ってしまいました。  
今後の情報交換とゴールでの組紐プロジェクトの可能性についての検討などを約束して、午後4時にホテルに入りました。  
ホテルはオーシャンビューのきれいなホテルです。  
プライベートビーチもプールもあって、水着を持ってくるべきでした。  
そもそも、ゴールに来たのは観光目的ではないのですが、町全体が外国人向けリゾートなので、ホテルはどこも高いのです。  
このホテルはヒルトンならぬ「Milton」でちょっと笑えるのですが、どうして値段も手ごろでこっそり紹介したい穴場です。



部屋からの眺め！

ただし、ここで食事をすると高いので、地元のテイクアウェイで夕食は済ませます。夕方、コロomboの根本さんから電話が入りました。明日朝 8 時前にスジューワに電話させて道を聞くことにしました。

目の前の海岸は夕日がよさそうだったので、写真を撮ろうと待ち構えましたが、あいにくの雲で夕日の写真は撮れませんでした。

夕方表通りをヒンズーのお祭り行列が通りました。男の人を高くひもで水平につるして練り歩く奇妙なお祭りです。

ゴールの町はすべてが外国人目当てで、海岸は全部ホテルが占領しています。古くからヨーロッパの国が保養地にしてきたところなので、しかたがないのかもしれませんが、庶民の生活は海岸からちょっと入った通りがたくさんの人たちでごった返しています。ここでの名物はカードとよばれるヨーグルトのような食べ物。よそでみるより大きいのでちょっとびっくり。

2004年12月26日のスマトラ沖地震津波ではここゴールも甚大な被害を受けました。

明日は8時にここを出発する予定です。

3月12日（日曜日）

午前6時起床。朝の風景を撮る。東はブラインドなので日の出は見えません。

天気晴。夕べと違って涼しい。

午前7時に2階のレストランに行きましたが、まだ準備ができていません。しばらく椅子にかけて海を眺めています。20分ほど待って朝食の準備ができたと言われてボーイが知らせに

きました。 ビュッフェでカレーアンドライスとパンの朝食です。

7時45分、スジワもレストランにやってきました。 8時チェックアウトして出発です。待ち合わせまで時間があるので、高速道路を通らず、寄り道しながらコロンボ方面へ向かいます。

最初に有名なライトハウスホテルを車窓からながめて通過しました。左手に青空とインド洋が水平線まで一つの島さえ見えず広がっています。 砂浜には人かげもなく、波が打ち寄せています。 このあたりではホテルのビーチ以外で泳ぐのは危険だと聞きました。途中、岩礁があって潮溜まりのような場所で、子どもたちが泳いでいるのを見かけるくらいです。



インド洋と水平線

次に立ち寄ったのは Boosa Temple



この写真ではちょっと分かりづらいのですが、像の口のじょうごにめいめいが持った水かめから、水を注いでいるのです。 この建物の周りに象の首がいくつかあって、みんなは周りをまわりながら、お水をあげます。この時間になるとはだしではかなり熱く感じます。

つぎはカルタナ寺院です。

ここも有名なお寺で、ちょっと変わった造りになっています。

二階建てで、二階にはストゥーパが建物の中心に祀ってあります。外側の建物もこのストゥーパと同じ形をしています。

寺院は河に面しています。たくさんの方がお参りに訪れています。



昼食後、待ち合わせ場所のケラニ・ラジャ・マハ・ビハーラ寺院に向かいました。



足の裏が焼けそう。

2時間近く時間があるので、ゆっくり見学できますが、日向は足が熱くてどうにもなりません。早々に木陰で一休み。

今日はこの寺院は何かのお祭りだそうで、たくさんの人出です。みんなお参りのために真っ白なサリーか真っ白の上下です。日陰を求めて大勢の人たちがそこいらじゅう座り込んでお参りしています。

人ごみの中で、若い警察官が注意をしてくれました。私は肩からパスポートの入った小さなバッグを提げていたのですが、後ろや横ではなく必ず体の前に置くようにと。なに

しろ大勢の人出です。

ここでちょっとした事件発生。

木の根元に腰を下ろして、スマホの画面を見ていた間に、誰かがそばにいたペットボトルの水を持って行ってしまったのです。

でかい2リットルのボトルがいつの間になくなったのにはびっくり。 猿かもしれません。

2時過ぎに根本さんとお会いできました。 昨年11月に有川さんや後藤さん、裏さんたちがこちらに来て、スリランカからの労働者受け入れについて、政府筋に話をしたことについて、その後の進展を聞くつもりでした。しかし、根本さんの話は期待したものとはちょっと違い、スリランカ当局の対応の悪さへの不満を聞くことになってしまいました。

そのときの交渉結果についても、なしのつぶてで、根本さんのビザがこの8月に切れることについても、放置している状態だと話されていました。

根本さんのお昼ご飯に付き合いながら、お話を聞きました。

ここで分かれて一路キャンディに戻ります。

アラガマの宿舎のすぐ近くまで来たところで、フライドライスのテイクアウェイを買って、夕食にしました。

なんとか暗くなる前に到着。

3月13日（月曜日）

午前6時起床。

週末留守にしていたので、私の朝ごはんを忘れていたらしく、お茶の時間になって、ホットサンドが届きました。

ラリタが作っている腕輪にサシから新しい要求が出て、シロミとラリタは頭を痛めています。「きのうああ言ったかと思ったら今日はまた別のことを言う」と不平たらたらですが、お客とはそんなものよと慰めます。

なんとか工夫して私も手伝ってあげることにしました。

そもそもこの腕輪はラリタの発案で、台所用洗剤の容器を輪切りにして、刺繍糸を巻きつけ縦糸と横糸を織物のように重ねることで文字を織り出すというものです。

アイディア自体はもともとあるのですが、廃品をうまく使うことが工夫です。

両端は縦糸を伸ばしておいて結ぶという簡単なものでしたが、欠点は結びにくくその上解けない。そこで私がカニカンを使ってプレスレット風に留めることを提案しました。

さらに、両端の角が立っているのが気に食わないので、丸くカットしてみたいのですが、この部分が刺繍糸がうまく巻けないので、下地が見えてしまいます。

これはこれでも良いのですが、サシはこの部分も同じ刺繍糸でカバーするようにラリタに要求しました。

これがなかなかの難問でした。 考えたあげく、両端に明けた穴を中心にして、サテンス

テッチで刺繍することにしました。格好はついたのですが、制作の手間が3割がた増えてしまいました。

というわけで、口を出した私も手伝うことでなんとかやっつけようということになったのです。

シロミはシロミでフェアのために象のアップリケがついたバッグのノルマをこなすのに懸命です。このバッグはお米の袋を使ったものです。

400ルピーで買い手があるかどうかちょっと心配です。

ラリタは腕輪の試作についてサシから返事があるまで、短いタイプの組紐飾りを作ります。

ラリタのお手本ができたなら、ほかの少女たちにもこれをやらせるつもりです。

いまのところ、ほかの少女たちにはキーホルダーを作ってもらっています。

金具に限りがあるので、今日あたり終わりそうです。

お昼から豪雨になりました。

このところ毎日雨が降ります。4時までワークショップを続け、少女たちは部屋に持ち帰って続きを作ります。

前回作ったブレスレットについて、多方面に見せたところ、組紐は良いが、使っている金具が良くないとの意見をもらったそうです。確かにかしめ金具が安っぽいので、作り方を変える必要がありそうです。組紐の難しいところは端の始末です。昔から金具と繋ぐ部分の研究があまりされてこなかったのが、西洋で使われている革紐などの金具では相性がよくありません。

日本では羽織の紐などほとんどが「結ぶ」ように作られてきたため、ブレスレットのような使い方がされていないのです。

午後7時半夕食が来ました。

3月14日（火曜日）

午前6時起床。

6時半にお茶が届きます。学校に行く途中の子供たちが制服姿で届けてくれました。

トイレの電球が切れました。洗い場のものを外してきて、代用です。

午前8時朝食が届きます。

午前9時過ぎ、ワークショップ開始です。先生のシロミはあとから来るそうです。

ビノダニが作ったのは短すぎたので、やり直しさせました。最初に厳しくしておくことが後ではためになります。

マダビは病院に行くのでお休みです。

午前11時前にシロミがやってきました。隣のクラスからおすそ分けで、スポンジケーキとバナナの差し入れです。

ビノダニは新人です。彼女には「十六平源氏組」でショートタイプのストラップをつく

らせていますが、短いとこの組み方では楕円形になります。そこでわざと魚の形に似せて作ることにしました。このあと彼女のことを漁師さんと呼んでいます。

魚 Fish マールワ

隣の教室の先生がキーホルダーを 200 ルピーで売って欲しいと行ってきましたが、お断りしました。

今回の製品としての制作目標を決めて、発表しました。

ショートタイプのストラップが 300 本、マダビはロングタイプで 50 本を割り当てました。ラリタはイベント向けの宿題を抱えているので、できる分だけ。

シロミ先生は小物のサンプルをペアで作ってもらいます。

各人にはそれぞれ 3 パターン 30 本ずつを割り当てたので、この企画が終わるころには自分の受け持ったパターンについてはエキスパートになれるでしょう。

3 月 15 日 (水曜日)

午前 6 時起床。

起き掛けにめまいがして気分が悪い。6 時 40 分、制服姿の少女二人が朝食を持ってきました。ローティですが食欲がありません。

午前 8 時半教室に行って、シロミに話し、午前中休むことにしました。

午前 9 時過ぎになって、少し気分が良くなったので、ローティをかじって教室に行きます。

I want this one. マタ オーネ メーカー

How much is this? メーカー キーエデ

It cost 300 Rs. メーカー ルピアイ トウン シーアイ

先日来たお坊さんがもう一人の若いお坊さんを連れてやって来ました。

折り紙に興味があるそうです。

ダヌシカはシロミに何か言われて、午前中元気がありません。午後になってやっと元通りになりました。昨夜ははさみを持っていなかったなので、ナイフで組紐を切ったと話していました。

シロミとラリタはイベントのための宿題に追われています。

4 時 20 分停電、5 分ほどで復電。

午後 7 時夕食が届きます。今夜はホッパーと紅茶。

3 月 16 日 (木曜日)

午前 6 時起床。 気温 25.8 度

日本では熱帯夜の気温ですが、とても涼しく感じます。洗濯を済ませて、6 時 35 分朝食のキリバットがきました。

日向に洗濯物干し場をこしらえました。 昼食はじゃがいもと魚のカレーです。

シンハラ語で数の数え方

- 1 0     ダハエ
- 2 0     ヴィッサ
- 3 0     ティハ
- 4 0     ハタリハ
- 5 0     パナハ
- 6 0     ハエタ
- 7 0     ハエッタエーワ
- 8 0     アスーフ
- 9 0     アヌーフ
- 1 0 0   シーヤ

シンハラ語で読み方をかいてくれたので、読めません。

少女たちにはショートタイプのストラップを 300 本作るように指示してあります。

ダヌシカは比較的易しい「千鳥組」ができません。

彼女はここのところちょっと情緒不安定で、何事にも真剣に取り組めないようです。

表面は天邪鬼のように振舞っていますが、何か大きな悩みがあるのかもしれませんが。

マドゥは頭痛で午後から早退です。

ダヌシカがぐずぐずしているので、シンハラ語で「泣くな」の意味の「アンダンネパ」といって冗談半分に叱ります。 これをきっかけに「アンダンネパ」が合言葉になりました。

日本語の「泣くな」も通じるようになりました。

午後 4 時に宿舎に戻りました。

3 月 17 日（金曜日）

ちょっとしたハプニングです。

午前 6 時、目覚ましが鳴ったので、起き上がって、顔を洗おうと外にでると真っ暗です。

普段なら外は明るくなっているはずですが。

眠くてたまりませんが、壁の時計を見るとなんと 2 時半です。

暗いはずで、いつの間にか目覚まし時計が日本時間に戻ってしまったのです。

この時計は電波時計で、GPS の電波で時間あわせを自動的にするようになっているのですが、なぜか位置情報が日本になってしまったようです。

起きるのには早すぎるのもう一眠り。

午前 6 時もう一度起床です。

6 時半に朝食が来ました。

今日は一日ラリタの手伝いになりそうです。

昼休みに宿舎に戻ってみると、洗い場が猿に荒らされています。

置いていた石鹸がなくなっています。きっと猿に食われてしまったのでしょう。

猿の進入路を応急修理しましたが、またやってくるかもしれないので、買い置きのお石鹸は隠しておきました。

午後 8 時 夕食が届きました。

3 月 18 日（土曜日）

5 時 50 分起床。 気温 23.5 度。とても涼しく感じます。

今日のごみを片付けます。 ラリタの仕事の残りをやってから、ごみを燃やしました。

午前 7 時朝食が来ました。 私が教室の裏手でごみを燃やしていたので、部屋にいないので探したようでした。

7 時 40 分に朝食をいただきます。 そのあと髪を洗いました。 水は節約しなければなりません、頭も痒いし。

午前 10 時 35 分、お茶が来ました。いつもは教室でのティーブレイクですが、今日は土曜日でお休みなので、お茶が運ばれてきました。

午後 1 時、昼食にセンターに行くと、サシがお客さんと来ていて、「日本からのお客さんよ！」と言います。 ニルミニ小林という女性で、日本のご主人ともう 20 年の日本に住んでいるとのことでした。

お住まいは千葉で、高校生の息子さんがおられるとか。 この 8 月には息子さんを連れてスリランカに来る予定だそうで、そのときはおあいできるだろうと話されました。

サシの犬猫 N P O の T シャツを差し上げました。

モバイル WiFi のデータが契約上弦を越えて使えなくなりました。 明日、キャンディに行って再契約しなければなりません。 電話だけであれば簡単にチャージできるのですが、データはショップにいかないとしかたありません。

午後 5 時にお茶が来ました。 日本の感覚では午後のお茶がこの時間だとずいぶん遅い気がしますが、さすがイギリス文化の国です。 アガサ・クリスティの小説の中に、「4 時にお茶って早すぎはしない？」という表現があったのを思い出します。 午後 5 時がお茶の定時、8 時から 9 時から正装してディナーなのです。 ここでは正装しませんけど。

手持ちの S I M をやりくりして、とりあえずパソコンのメールだけは使えるようにしておきました。 午後 7 時半夕食が来ました。

3 月 19 日（日曜日）

午前 6 時起床。 残り 1 週間になりました。

今日はキャンディに出かけます。

午前 7 時 40 分、朝食が来ました。

大きなおにぎりが 5 個も。 午前 9 時半ごろのバスでキャンディに向かいます。

バス代 36 ルピー。バスは安いけどとても運転が乱暴です。しっかりつかまっていないとあちこちぶつかってしまいます。今日は日曜日なので、たいして混んではいませんが、普段はぎゅうぎゅうです。

キャンディについて、このまえのことがあるのでバス基地で帰りのバスの乗り場を探しますが、見付かりません。どうにかなるさと重い、KCCのDialogに行つて、モバイルをリロードして使えるようにしました。4GBで499ルピーです。

ついでに安部さんに頼まれた象の置物を2つ買いました。

このみやげ物店のおじさんがさかんに勧めるので、帰りはスリーウィーラーで帰ることにしました。600ルピーで交渉成立。

相場は分かりませんが、こんなものでしょう。

午前11時半アラガマ到着。バスの乗り心地に比べれば値段相応とも言えます。

時々方向が分からなくなるので、キャンディ市内の地理をもう少し頭に入れておかねばと再認識しました。

お昼、何かお祝い事らしくお客さんが来ています。赤ん坊のいる少女とおなかの大きい少女が対象らしく、プレゼントをもらっていました。

こちらもおかげでご馳走のカレーにあずかりました。

ちょっと遅い午後2時半に昼食です。

午後4時前、おばちゃんと少女2人が外周りの掃除にやってきました。庭を掃いてやしの実を棒でつついて落とされています。

結局6個ほど収穫がありました。午後5時私のノルマの作業終了です。

3月20日（月曜日）

午前5時50分起床。気温25.4度。

昨夜から、ガサガサ天井あたりでうるさい音がしていました。やもりを猫かなにかが追いかけていたようで、うるさかったです。

午前6時半過ぎに朝食が届きました。

おとなりの幼稚園は朝からバザーの支度でにぎわっています。

日本は「春分の日」これをみんなに説明するのがなかなか難しいのです。ここでは年中それほど昼と夜の長さが変わらないので、そのこと自体わかってもらえません。

ついでに日本の祝日について説明しました。

ラリタが持っている教室の鍵の調子が良くありません。磨り減っていて、なかなか鍵が開かないのです。

シロミはサシに言われた織物のサンプルを作るために授業から離れます。

午後4時宿舎に戻つて体を拭いて洗濯。ラリタの仕事の手伝いを5時までやります。

このあと、キャンディ市内の地図を自分で書いてみることにしました。

ネット上の地図を参考にして、記憶と照らし合わせます。

夜になって暑くなりました。気温 28.8 度。

午後 8 時夕食が来ました。

3 月 21 日 (火曜日)

午前 5 時 50 分起床。

午前 6 時 10 分 お茶が来ました。

おばちゃんが 7 時半にローティを持ってくると言っています。

こばこからメールで Mlesna Tea が買いたいと知らせて来ました。 KCC とその近くにショップがあるようです。

部屋の掃除をして、7 時 50 分 朝食をとりました。

少女たちには明日 22 日中に与えたノルマを仕上げるように言っています。みんながんばっています。

マダビは朝のうち頭痛がすると言って休んでいましたが、後で現れました。 シロミは WDC のオフィスによってから出勤です。

また、米の袋で作ったバッグをさらに 20 枚作るようにいわれたようで、私が依頼したバッグのサンプルにはなかなか手が出せないようです。

Gita から電話があり、約束していたエステートの見学ができそうにないとのこと。

4 月はスリランカの正月で、そのため今が忙しい期間なのです。

次回、あらかじめスケジュールを決めて訪問することにしました。

気温は高く、室内で 29.1 度。

午後 5 時 20 分、ラリタが追加の仕事を持ってきました。 明日の朝まで。

3 月 22 日 (水曜日)

午前 5 時 55 分起床。 本日分ストラップ金具を準備します。

午前 7 時 40 分 朝食が届きました。 今朝は蒸したさつまいもがどっさり。

今日は作品を仕上げる日です。

タイプ別の買取価格を概算します。

マドゥとビノダニはタベ寝ないで仕事をしたそうです。 さすがに眠そうですが、がんばっています。 納期を守るのも品質のうちだと教えることが大事です。

先生のシロミのほうが自己管理ができていません。

3 月 23 日 (木曜日)

午前 4 時 10 分 こばこから電話があり、飛行機は予定通り到着の連絡。

午前 4 時 30 分 起床。

午前 4 時 45 分 車で出発したと連絡あり。

午前 7 時半、もう WDC センターに到着したと電話がありました。 サシが 7 時半に迎え

にくることになっていますが、まだ見えません。

7時45分ごろ迎いの車がやってきました。8時半ごろWDCセンターに到着。サシに娘を紹介しました。

8時40分、お祈りの時間に立ち会いました。スタッフそれぞれが自分の宗教でお祈りをします。キリスト教、仏教、ヒンズー、ムスリムとお互いの宗教を尊重しあうのがこの国の良いところです。

娘からいくらかの寄付をサシに手渡し、私は少女たちが今回の訪問中に作った作品について説明して、その買取価格をしめし、合意しました。

今回のワークショップでマダビが進歩して、良品ができるようになったことなどを報告しました。また、シロミの試作品について、いまひとつ検討が必要なこと、一方壁掛けのできは大変気に入ったことも報告しました。

必要な資材の日本や中国からの送付についても、サシのほうで方策をしらべてくれることになりました。

9時半にS-three ショップに到着。店は10時オープンなのですが、開けてもらい一通り商品を見ます。私たちの組紐はガラス陳列の中に10本たばで袋に入れて売られています。10本で1000ルピーですが、これではちょっと売れそうにありません。

こばこが大きめのバッグを購入。これはまずまずのデザインですが、他はあまりぱっとしません。

袋物には全て裏がつけてあり、縫製は悪くはないのですが、デザインが古い感じはぬぐえません。

土曜日にもう一度くることにして、このあとKCC（キャンディ・シティ・センター）に立ち寄ってアラガマに向かいます。

アラガマの宿舎で荷解きして、昼食をいただきに食堂に行きます。

昼食前にセンターの前でジャナキさんにこばこが中国から持参したお菓子を渡し、挨拶しました。

食堂でも先生たちがこばこを迎えてくれました。ラリタもシロミもいます。

今日も午後お客さんがあるらしく、カレーはごちそうです。

午後から組紐のワークショップに参加予定です。

1時半、中国から持参したお菓子と組紐の資材をシロミに手渡し、教室で作品を見せてもらってこばこが感想を話します。

キーホルダーのぞうさんは割高感があります。以前から気になっていた女性用品につい

でも意見を交わしていました。

シロミの作った壁掛けはなかなかのできばえです。

センターの3階に織物を見に行きました。 ベッドシーツや枕カバーをこぼこが購入。

3時から3人の少女がダンス教室に行きました。 午後6時過ぎには、こぼこが中国から持ってきたワインを飲んで久々リッチな気分です。

午後8時夕食が来ました。

9時就寝です。

3月24日（金曜日）

シロミはイベントの準備でお休みです。

午前中、作品の包装を全員でやります。

包装をきちんとすることで、商品価値が上がることを教えなければいけません。

午後はラリタ以外がダンスの練習に行くので、教室はお休みです。

センター2階の部屋で、太目の先生が厳しくダンスの指導をしています。 でも先生目を盗んでは怠けるのがこの年齢のこともたちにとっては当たり前かもしれません。

レパートリーは6曲ほど。 月末のイベントで踊るのでしょう。

先日見たキャンディダンスと同じ踊りもやっていたので、踊りの内容もだいたい分かりました。

教室の方は先生のシロミもイベントの準備に行ってお休みなので、ちょっと尻切れトンボになりました。

ここでお茶をいただいてから、5時ごろ宿舎に戻ります。

午後8時過ぎに夕食を3人で持って来ました。

夕食後、9時ごろ外に出てみると星空です。 あかりがあちこちにあるので、あまり良く見えないのですが、天頂あたりちょっと西よりオリオンが見えます。 その左手におおいぬ座がきれいに見えていて、シリウスがそれとわかります。 そのまっすぐ南側（下）に竜骨座のカノープスがかがやいています。 そのちょっと左上がおそらく「にせ十字」と言われる星星。

チラッと流れ星が見えました。 気をつけていると、何個か流れ星が見えます。

パソコンで調べると、どうも「おとめ座流星群」のようです。それほどたくさんではありませんが、いくつかの流星を確認できました。

ふたご座は北天に見えます。 北斗七星は見えますが、北極星は高度が低く見えません。

このようなときは都合よく停電があればいいなと思います。

3月25日（土曜日）

6時起床。午前8時朝食が来ました。 ホットサンドです（中身はカレー）。

バスでキャンディ市内へでかけました。

最初は仏歯寺（ダラダ・マリガワ）です。

バスを市場の前で降りて、歩いて10分ほど、男女別々の入り口から宮殿跡の中庭を抜けて、チケットを求めます。

一人1500ルピー。



祭壇に蓮の花を供える人たち

人の多さに身動きできません。

このあと、博物館を見学しました。

時間は午前10時半過ぎ。もう暑くなってきて、お茶を飲みに行くことにします。

お茶屋さんは来る途中に見つけてあります。すぐそばに本屋さんがあるのに気がつき、立ち寄ります。

シビル・ウェッタ・シンハの童話を5冊求めました。キャンディの地図がないか尋ねましたが、ありません。

Mlsena という名前のお茶屋さんに行きます。日本でも名前が知られているようで、2階は喫茶になっています。

ミルクティーとチーズケーキを注文しました。

娘はたくさん紅茶を買い込みました。帰りに受け取るので、預けておきます。

スリーウィーラでWDCのショップに行きます。300ルピー取られましたが、帰りは歩いて15分弱ほどの距離だったので、ちょっと損した気分です。

23 日にも見たのですが、再度店を念入りに調査します。

置いている商品は悪くないのですが、デザイナーを確保する必要がありそうです。

歩いてクイーンズのパブに行き、冷たいビールを注文しました。

ビールはスリランカの「L I O N」です。



荷物がたくさんになったので、アラガマまでスリーウィーラで戻ります。

午後 4 時半アラガマ到着。 体を拭いて帰り支度をします。

午後 8 時 15 分夕食が来ました。

明日は午前 8 時出発予定です。

3 月 26 日（日曜日）

6 時起床。

部屋の片付けと掃除を完了。

朝食が 7 時に来ました。 ローティです。

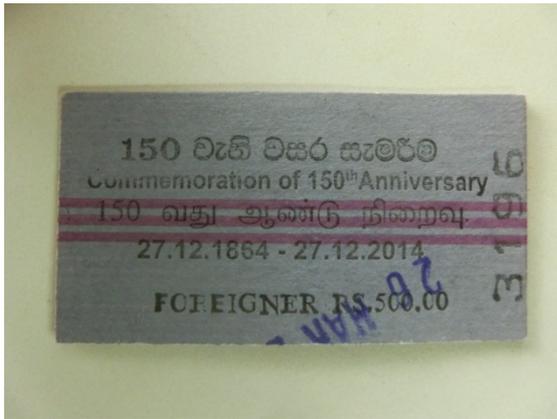
残っていた飴を全部おばちゃんに上げました。

鍵を返しにセンターに行くとき、ちょうどスワージーが迎えに来ました。

帰りは予定を変更して、キャンディ市内へは行かず、鉄道博物館を見て、コロンボのベアフット経由で空港に行くことにしました。

キャンディでの買い物は昨日全部片付いたので、かねてから行きたかった鉄道博物館に行きます。

9 時半、鉄道博物館に到着。



(150周年の記念切符が入場券)

係りのおじさんが腕木式信号機やポイントの操作を実演してくれました。

客車の中ではスリランカの鉄道開拓の歴史のビデオを上映して、このテレビは日本の日立だと自慢しています。



(ポイントを操作するおじさん)

鉄道博物館からちょっとコロomboよりに「キャプテン・ドーソン」の記念碑があります。一見燈台のようなこの記念碑。数々の建築物を残した人との記事が書かれています。

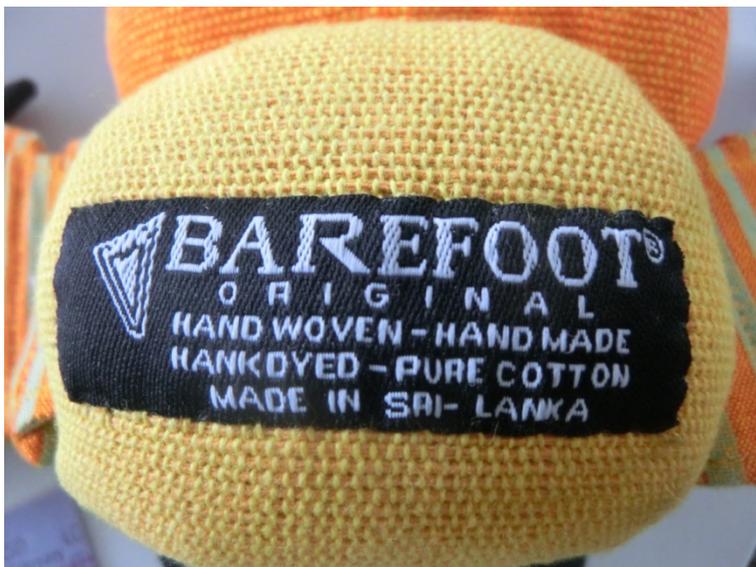


キャプテン・ドーソンの記念碑)

コロンボに午後 1 時到着。 ベアフットで商品をチェックしました。

デザイン構成、配色、タグのつけ方、値段など。

どの商品もしっかりした手触りの手織り生地、木綿主体、染め色はオレンジ、緑、黄緑、藍色の組み合わせが多く、格子柄をキルティングに見せているものなどが目につきます。タグの種類はおおまかに 2 種類。 下げタグで洗濯タグ代用。 タグにピュアコットン、手織りなどの表示があります。



(ベアフットのタグ)

下げタグは根付け部分がミシン目を入れてあり、切り取れるようにしてあります。

袋物はほとんど裏をつけない作りになっていて、縫製の手間が少なくなるようにしてあります。 生地がしっかり目なので、裏をつけるともごもごするのかもしれませんが。

自分用に作業用エプロンを買いました。1800 ルピーと安くはありません。

中庭には外国人の軽食のお客がいっぱいです。

コロomboの昼はとても蒸し暑いのです。キャンディからやってきたわたしたちにとってはこたえます。

コロomboから高速道路で空港に向かいます。途中で午後2時に昼食。魚のカレー。

空港には午後3時に到着。入り口は人でごったがえしていますが、中はそうでもありません。時間があるので、ラウンジでシャワーを浴びてゆっくりできました。

離陸直前の機内で急病人が出て、1時間遅れで離陸です。

結局、インチョンでの福岡便乗継ができず、午後2時の便に変更になりました。

インチョン空港のラウンジで時間をつぶします。

コロomboから福岡への乗り継ぎは私のほかにもう一名あったようです。

娘はインチョンから広州への乗り継ぎでこちらは9時の便だったので、なんとか間に合いました。

時差のせいで眠かったので、一時間ほど仮眠できました。

外の天気は雨か霧で全く見通しがききません。

14時5分の便で福岡空港に到着です。

空港の外に出ると、風が冷たく感じます。日本はまだ春になったばかりです。

(次回へ続く)